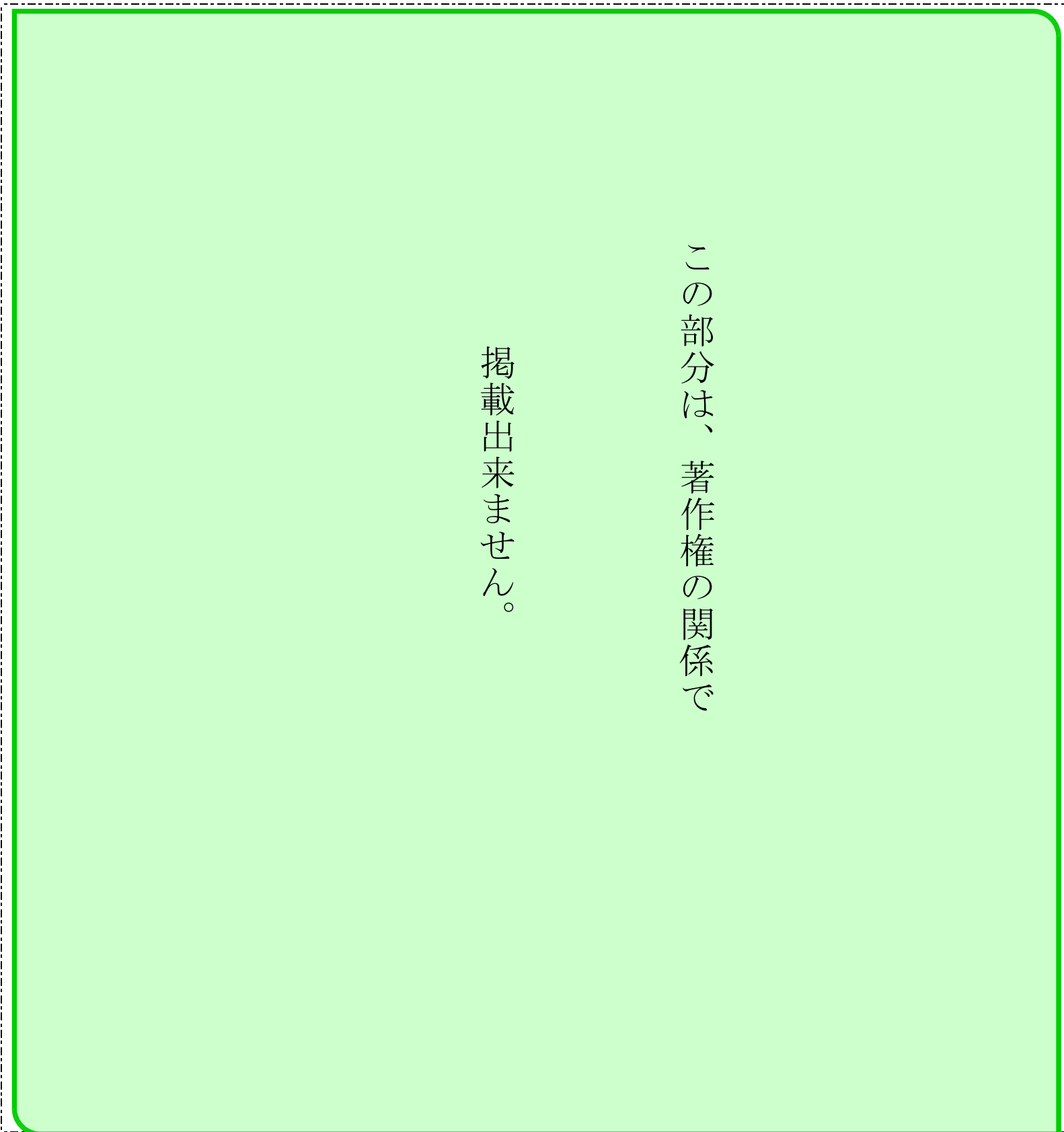


受験番号

課題1 次の文章を読んで、あとの(1)から(4)に答えましょう。



(1) 本文の中には、〓〓「受賞」という熟語が使われていますが、これは「一を」や「一に」に当たる意味の漢字が下にくる組み合わせでできています。このような組み合わせでできている二字の熟語には、ほかにどのようなものがあるか、二つ書きましょう。

--

--

受験番号	
------	--

課題3 小学6年生の太郎さんと花子さんが、先生と日本の人口問題について会話をしています。その文を読んで、あとの(1)～(4)に答えましょう。

先生：2015年の日本の人口はどれくらいだと思いますか？

太郎：この前の授業で、およそ1億2700万人だと習いました。

先生：そうです。よく覚えていましたね。では、資料1を見てみましょう。

日本の人口の総数は、2010年を境にだんだんと減少していますね。

花子：ほんとうだ。資料1は年齢層別の人口の変化を示しているけれど、

①年齢層によって人口の変化に特徴がありますね。

先生：そうですね。②このままだと社会にどんな問題が起こると考えられますか？

太郎：15歳から64歳の人たちは、いろいろな仕事について働いている人たちですね。そうすると、という問題が起こると思います。

花子：65歳以上の人たちで仕事についている人はそれほど多くなく、国などから支給されるお金で生活している人がたくさんいるそうです。そして、そのお金は働いている人たちが納めている税金などから支出されていると祖父から聞きました。そうすると、という問題が起こると考えられます。

先生：よく気がつきましたね。しかし、これらの問題を解決するにはあなたたちの年齢層の人口問題を考えていかなければなりません。

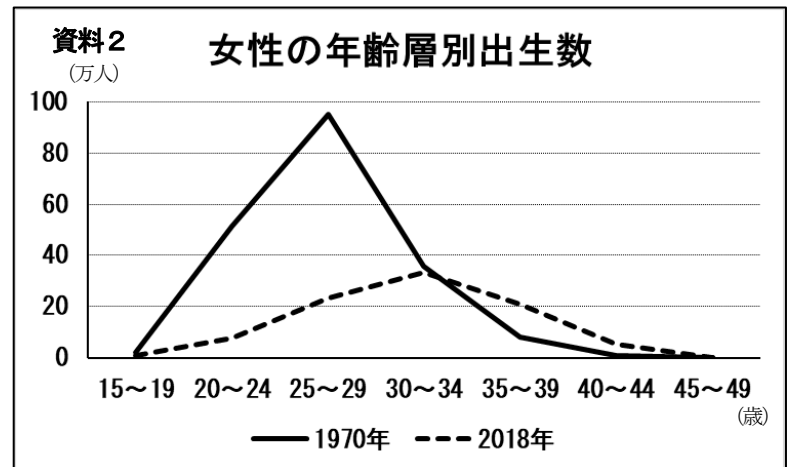
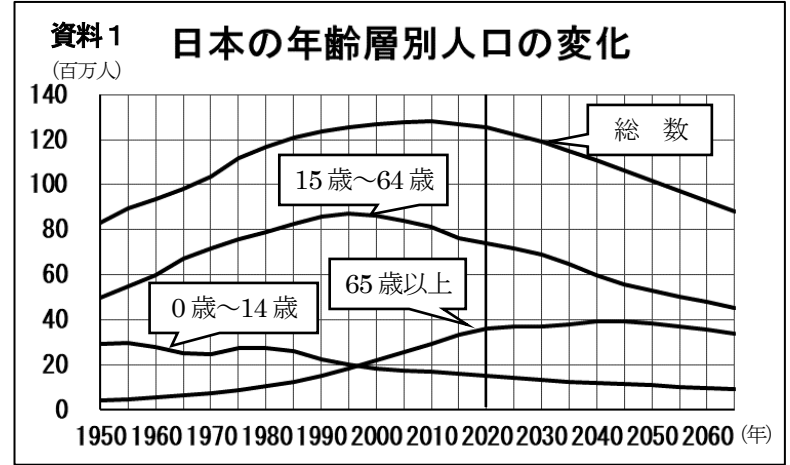
太郎：えっ、そうなんですか。では、資料1のような、私たちの年齢層の人口の変化が、どうして起こってきたのですか？

先生：資料2を見てみましょう。③このグラフの中に、あなたたちの年齢層の人口の変化が起こる理由のヒントがあります。

太郎：資料2には、1970年と2018年の女性の年齢層別出生数が示してあるけれど、この二つには違いがありますね。1970年に比べて、2018年はようです。このことが、私たちの年齢層の人口の変化に関係があるのではないかと思います。

花子：そういえば、働く女性が増える一方で、仕事と出産・子育てとの両立に不安があるという話を聞いたことがあります。

日本の人口問題を解決していくためには、④子どもを産んで育てやすい社会にしていけることが必要だと思いました。



*女性の年齢層別出生数とは、その年に生まれた子どもの数を、母親の出産した年齢層別に表したものである。

(国立社会保障・人口問題研究所の資料から作成)

(1) 下線部①について、資料1から読み取れることをまとめた、次の文の()にあてはまる語句を答えましょう。

1980年から2015年の間、65歳以上の人口は()しており、0歳～14歳の人口は()している。

(2) 下線部②について、資料1と会話文を参考にして、・にあてはまる文を考えて書きましょう。

A

B

(3) 下線部③について、資料2を参考にして、にあてはまる文を考えて書きましょう。

(4) 下線部④について、「子どもを産んで育てやすい社会にしていける」ために必要なことを、2つ考えて書きましょう。